

スポーツが群馬を熱くする

本県には、バスケットボール、サッカー、野球、自転車ロードレースといった地域に根差したプロスポーツチームがあります。このようなチームの活躍は地域を盛り上げ、私たちに元気や希望を与えてくれます。

県は広報活動を通じてプロスポーツの魅力向上を図る他、子どもたちを対象にしたスポーツ教室を開催するなどプロスポーツを通じた地域振興にも力を入れています。皆さんも一緒に県内のプロスポーツチームを応援し、スポーツの力で群馬県を盛り上げましょう。



群馬クレインサンダース



念願のB1リーグへ

男子プロバスケットボールリーグ「Bリーグ」に所属。昨シーズンは2部にあたるB2のレギュラーシーズンで、Bリーグ史上最高の勝率91.2%や33連勝という結果を残し、圧倒的な力でB2優勝とB1昇格を成し遂げました。

10月にはよいよ新シーズンが開幕。B1での戦いに向け、チームロゴやユニホームを刷新した他、新ヘッドコーチの就任や選手の加入など、新たな体制を整えてきました。また2023年春の完成を目指し、5千人が収容可能なホームアリーナを太田市に建設するなど、数年以内に「日本一のクラブ」になるという目標をかなえるための動きが加速しています。

もうすぐ新シーズン開幕！

群馬クレインサンダースの新シーズンのホーム初戦は、10月9日(土)に太田市運動公園市民体育館で行われます。対戦相手は昨シーズンにB1で優勝を果たした「千葉ジェッツ」。東京オリンピック2020で活躍した選手も所属するなど、リーグトップの実力を誇るチームに、群馬クレインサンダースがどのような戦いを挑むのか、新シーズンの活躍をご期待ください。



※画像は2020-21シーズン

昨年7月に社長に就任した

阿久澤社長にインタビュー



群馬プロバスケットボール
コミッション
代表取締役社長
阿久澤 毅さん

社長に就任したきっかけは何ですか？

長年教員として高校野球を指導してきたところ、定年を控えた頃に、古くから野球を続けてきた縁で社長就任の話をしていただいたことがきっかけです。甲子園に連れて行くという目標はかなえられませんでした。自分なりにやり切ったという気持ちもあり、今度は異なる分野で群馬を盛り上げるため、新たな一歩を踏み出すことを決心しました。

就任して1年がたちました。どのような1年でしたか？

新型コロナウイルス感染症の影響により試合が中止になるなど、就任直後は経営上苦しい状況からのスタートでした。しかしその分、支えてくれるスポンサーやお客様の存在は本当にありがたく、大切にしたいと強く感じました。

またプロスポーツである以上、私たちが目指すものは試合を楽しみ喜んでもらうことです。お金を出すに見合った価値

を創り出せているのか、そのことを常に考え、さまざまな仕掛けを打ち出していく必要があると考えています。

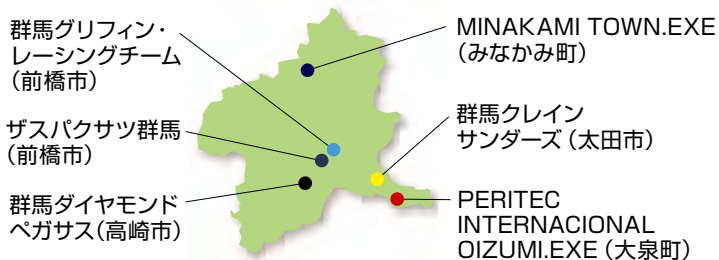
今後の抱負を教えてください。

試合で良い成績を残すことだけでなく、私たちが支えてくれている地域への貢献も使命と考えます。小学校やスポーツ少年団を訪れ、子どもたちにスポーツの楽しさを体感してもらうことや、試合と併せてグルメや音楽イベントを開催し、地域のにぎわいをつくり出す取り組みなど、地元である群馬のために力を尽くしていきたいですね。

一流のバスケットボール選手のスピードやパワー、息つく暇がない試合展開を間近に体感できる環境が群馬にはあります。多くの人に会場へ足を運んで、試合を楽しんでもらえるとうれしいですね。

続々誕生、 ぐんまのプロスポーツ！

県内には地域に密着した6つのプロスポーツチームがあります。ここでは、近年、新しく誕生したプロスポーツチームの特徴や活動を紹介します。



群馬グリフィン・レーシングチーム

2015年に創設された前橋市を拠点とするプロロードレースチーム。自転車ロードレースは4~8人でチームを組み、順位を競う競技です。山や街中の公道を走るなど、さまざまなコースがあります。チームは現在、日本のトップチームによって争われる国内最高峰の「Jプロツアー」に参加。毎年春には群馬サイクルスポーツセンター(みなかみ町)を会場にした大会も開催されています。

